

武家茶道 式正織部流「歴茶禅倶楽部」 会員募集要項



令和5年度から3ヶ年で中学校の部活動が地域のクラブに代わる状況です。そのため、瑞浪市教育委員会に相談して新たな中学生の文化活動として「歴茶禅倶楽部」を令和5年4月から開始しますので、この機会に日本の伝統文化に取り組んでみませんか。いつでも受付しますが、空いている時間枠で申込頂きます。

さて、歴史では、美濃源氏土岐氏一族の歴史と郷土のつながりを講義します。茶の湯では、陶磁器の焼物で有名な織部焼ですが、古田織部は元々戦国大名であり千利休の七哲の一人として学び、その後は武家茶道を確立し徳川幕府第二代将軍徳川秀忠の茶道指南役でありました。

また、鎌倉時代に中国からもたらされた禅は武士の心の鍛錬であり禅宗を通して土岐一族が広げましたし、室町時代には京の貴族や公家が雅な文化を美濃や飛騨に残しましたが、また禅僧による「茶の湯と禅」が現代まで遺ったわけです。それは、禅僧が茶の湯を行った事から「茶禅一味」として普及されてきましたし、今回は美濃の歴史文化に大きく関わった土岐氏中心として歴史を学ぶ事は「歴史は過去であれ、未来創造でもある」ことを習得してもらいます。また、禅は心の修養であり「無」の世界を心に留め、「滅私忘己利他」を通して、一服のお茶を立てるようになりましょう。

尚、令和6年秋に国民文化祭が岐阜県で行われますが、その事業に「歴茶禅一味」の文化創生運動を提唱したところ岐阜県文化創造課にて事業採択されましたので、学ばれる方々と共に参加して参ります。

師範 井澤 瑞浪

会場 双竹庵 瑞浪市寺河戸町1262番地

会費 月謝2000円・3000円・4000円と稽古の修得で変動。

申込 歴茶禅倶楽部 双竹庵 井澤 瑞浪

mail minogenji-tokiichizoku@docomo.ne.jp

電話 090-5108-8374(ショートメール可能)

名前 学校名・学年・住所・電話番号

備考 父兄等一般の方の参加も可能ですのでご相談下さい。

購入 帛紗1枚8000円と作務衣を道着として7000円程。

回数 月2回 第1週の平日と第3土日曜日・第2週の平日と第4土日曜日・第4週の平日と第2土日曜日

火曜日

土曜日

水曜日

日曜日

木曜日

12時45分・13時30分・14時15分・15時00分

17時15分・18時00分・18時45分・19時30分

全体会 第5土曜日は全会員で坐禅と歴史講義そして茶会を行いますので、特別会費1000円とします。

日程 令和5年7月29日(土)・9月30日(土)・12月30日(土)・令和6年3月30日(土)

後援 瑞浪市・瑞浪市教育委員会・瑞浪市文化協会・美濃源氏フォーラム事務局本部

【稽古開始30分前に入庵し、坐禅を15分。

その後、道具を準備して稽古に入ります。

稽古終了後は道具を片付けて終わります。

前の稽古者や次の稽古者の見学は可能。】